



梁

月ハ初一能もなをく

下 能ふいほなま 是ハ

諸國一見能僧をいふ

法乃國大五寺よ集りて

ば座思ふ大五寺よ集りやと

思ひ候 都をまゝて 衆深き小

橋をてく 法乃川舟り 末冬

うとのくあー ねほ乃ええー
松乃くわね波よける江口乃
里よけふくわく せえハ
え介あを江口乃君ね旧はうや
痛りーやそ牙ハあ中に握せ
つんせふハわくまわてくとも
者かてるもの旧徳をぞえるすね

三三三 詞
哀さよ実や西りけ師は所と

一松乃宿をくわもあふま乃心
なつりーのを世中残いとふさ
くろあさくろえぐわ乃宿を

わーむきえく眼せ師ーく費も
びらく乃事かあろーあ
痛りー昼候ハなつーあまなる

清信ぞ乃哥ををたふよとありひ

ふとてくらけきえけひりう

ナリ

うきやふ人あもるぬた

ふもむね一人あはれど乃

郎哥のくらけきえをいふと

きえをけふともうも何故よ

ナリ

けふう 三てもや強もけを

ふありひう世とけ葉のなほ

とある

うけけく露乃よをいとふま

うきあふりるる乃宿を

情世とのそ言乃葉もりけ

けきいさ乃えいけりえき

ききき強をなもやききふ

ナリ

是と強き出たるなわ けりす

うわ能高里をわー其君う能高
西行法師、ほぞーを唯何と
那ー吊ぬにみさう見ハわーま
さるさるー能高好ふ清牙をさる
上カレ
づりなる人さるまーさるさる
ミナ
川やさる能くさる情にぬー能
清みるをさる高をさる何とさる

那ーも勢をさる後をさるさる
サキ上カレ
くよその高乃さる能高ハ世を
いもふ人さるさるけハるさる
ミナ
宿さるさるなも思ふさるさる
心もその能く人をさるさるさる
女乃宿さるさるさるさるさる
能なるさるさるさるさるさる

五言

西^ニ行^ニも^ハ假^ニ乃^ハ宿^ニ王^ハ戎^ニ投^ニ人^ハと^ハつ^ニひ^ハ
 ち^ハ那^ハも^ハ必^ニよ^ハお^ニみ^ハさ^ハみ^ニえ^ハ乃^ハ
 東^ハ少^ハは^ハも^ハも^ハ埋^ニ木^ハ能^ニ人^ハ志^ニ達^ハぬ^ハ
 も^ハ乃^ハえ^ハお^ニほ^ハき^ハ宿^ハよ^ハ ^{心^ハも^ハそ^ハ}
 な^ハも^ハ那^ハ一^ハ好^ハふ^ハを^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ}投^ニ人^ハを^ハ思^ニふ^ハ
 心^ハを^ハ能^ハを^ハ ^{早^ハ}した^ハも^ハた^ハ一^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ}そ^ハ能^ハ
 言^ハ乃^ハ樂^ハハ ^{上^ハ三^ハの^ハ月^ハ} 折^ハ一^ハ 其^ハ一^ハ 各^ハ情^ハ可^ハぬ^ハ

上言五言

り^ハも^ハ能^ハや^ハ心^ハを^ハ能^ハを^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}
 折^ハ一^ハ 其^ハ一^ハ 心^ハを^ハ能^ハを^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}
 い^ハも^ハ一^ハ 酒^ハを^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}も^ハ投^ニ人^ハ乃^ハ
 東^ハか^ハる^ハも^ハ小^ハ心^ハ乃^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}必^ニ好^ハひ^ハう^ハ
 心^ハも^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}乃^ハ物^ハ投^ニぎ^ハけ^ハな^ハあ^ハも^ハ
 大^ハう^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}う^ハけ^ハあ^ハ人^ハい^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}
 な^ハ ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ} ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ} ^{ミ^ハ上^ハカ^ハレ^ハニ^ハニ^ハニ^ハ} ^{心^ハも^ハそ^ハ}

うけえほけくきぞめく
かき川く下江口けふも乃
君とやえくす恥しや上ねハ
うこひあけ乃浪と消し
あとなれや上うわ小すえあ
わのあ乃梅けくも枝やえ
けくせ思ひけふふ上きえり

きこきあをづね乃にや宿星
く貫ズい一河乃流の水汲ても
志けめくれよや江口け君乃
色契るもあしりわてり勢に
くわく上ねる江口けきえんの
あをうわ小恥まがよさる葉を
かりくはうやづきもつひて

うゝ海々々^{上あ}　つひもあへひ
うゝきや明く月に見えたる
川水よ遊女にうゝあ船あうひ
月小るゝたる不思議をよく
^{上あ月}河舟をとめてを瀬の浪に
うゝ世にゆめをえなゝりー乃
かき詠りぬ男乃り暇さよ伏よ

ひめゝ松浦うゝあゝー袖乃
溪乃る船にみ残なまゝ宇治の
橋姫もどきや世をぬ人を待も
牙橋上と氣なまゝーや苦野乃
よー　る音に花も雪も雲も
なゝともあり終世小あはゝや
^{サキ上カレ}不思議や明月波に水乃面よ

お女おあまゝゝゝあまゝひと
めきあへは人歌はうも旅人旅
舟や舟 何れ亦をたうや
水へ航しなゝゝゝ西乃
えくらおきる乃川道は月
よふを清流んをゝゝゝや
江口お女とはう秋を去り

への 山や古とは清流

まよ月ハむゝゝありゝるや
わがうやまにゝゝゝまふを
へ人水はうはゝゝゝなや

ふゝゝゝ何あゝおたまゝも
みりやきゝゝゝゝゝ
秋乃水が取きわぬゝゝゝ乃

月も影を以て輝乃哥
まゝへうくたけあし種者乃
恋さなをも遊女乃船あうい
世をわづる一し成るひて
しや遊ぶ世 夫十二国縁乃
流轉ハ車の庭よ四ありこと
系能る屋小あうふよい
上

月も影を以て輝乃哥
まゝへうくたけあし種者乃
恋さなをも遊女乃船あうい
世をわづる一し成るひて
しや遊ぶ世 夫十二国縁乃
流轉ハ車の庭よ四ありこと
系能る屋小あうふよい
上

愚^ニも^一く^一し^一た^一て^一け^一く^一小^一な^一心^一乃^一
 かり^ニた^一ち^一を^一ま^一な^一し^一 三ノ ^ニほ^一る^一よ^一
 我^ニ亦^一適^一う^一け^一あ^一る^一き^一人^一牙^一を^一う^一け^一
 た^ニわ^一き^一つ^一く^一せ^一花^一葉^一ぬ^一る^一糸^一牙^一き^一
 主^ニま^一跡^一た^一り^一し^一く^一な^一ふ^一河^一竹^一の^一
 か^ニり^一花^一女^一と^一な^一る^一き^一き^一花^一世^一乃^一
 報^ニひ^一ま^一る^一思^一ひ^一や^一ほ^一る^一者^一也^一け^一し^一

紅^ニ花^一は^一む^一乃^一あ^一た^一お^一錦^一錦^一は^一山^一
 よ^ニう^一ち^一ひ^一花^一な^一は^一と^一る^一し^一 ^ニ ^一
 む^ニ花^一風^一小^一き^一う^一し^一花^一紅^一葉^一の^一秋^一は^一
 中^ニあ^一へ^一花^一頰^一頰^一乃^一リ^一や^一 ^ニ ^一
 し^ニく^一き^一と^一つ^一く^一も^一お^一花^一露^一り^一
 う^ニ花^一あ^一は^一花^一露^一月^一よ^一さ^一と^一葉^一を^一
 む^ニし^一り^一実^一あ^一も^一さ^一花^一て^一来^一は^一事^一

^下なをみだ〜ぬぬもあ〜
^下浪乃を石も河申へ〜
^下お小心とやいふ心とあは
^下うふもあ〜
^下ち〜
^下別路も風〜花よ紅葉〜月
^下雪がふは〜もあ〜
^下

^下思へ〜
^下りる乃を〜
^下人を〜
^下まわや〜
^下あ〜
^下光〜
^下ち〜
^下

一二三
み、難、く、う、か、ほ、お、る、あ、ま、う、た、く
く、う、を、か、か、ゆ、き

